

下記のとおり一般競争入札を行うので、公立大学法人静岡文化芸術大学契約事務取扱規程第5条の規定に基づき公告する。

令和6年2月21日

公立大学法人静岡文化芸術大学
理事長 横山 俊夫

記

1 入札執行者

公立大学法人静岡文化芸術大学 理事長 横山俊夫

2 担当部署

公立大学法人静岡文化芸術大学 情報室情報係

- ・住所：〒430-8533 静岡県浜松市中央区中央二丁目1番1号
- ・電話番号：053-457-6126
- ・メールアドレス：jouho-t@suac.ac.jp

3 競争入札に付する事項

(1) 入札番号

消第002号

(2) 件名

令和6～8年度静岡文化芸術大学マイクロソフトライセンス購入

(3) 業務内容

仕様書のとおり

(4) 契約期間

令和6年4月1日から令和9年3月31日

4 競争入札参加資格

次に掲げる条件を全て満たす者とする。

- (1) 公立大学法人静岡文化芸術大学契約事務取扱規程第2条及び第3条の規定に該当しない者であること。
- (2) 物品購入等に係る静岡県競争入札参加資格を保有し、営業種目に「2. 電子計算機」を登録していること。
- (3) 入札参加申込書の提出期限の日から落札決定までの期間に、静岡県の指名停止基準に基づく指名停止を受けていない者であること。
- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者（更生手続開始の決定を受けている者を除く。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（再生手続開始の決定を受けている者を除く。）でないこと。
- (5) マイクロソフトにライセンシングソリューションパートナー（LSP）として認定を受けている者であること。

(6) 次のアからキのいずれにも該当しない者であること。

- ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴力団対策法」という。）第2条第2号に該当する団体（以下「暴力団」という。）
- イ 個人又は法人の代表者が暴力団員等（暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。）である者
- ウ 法人の役員等（法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者をいう。）が暴力団員等である者
- エ 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員等を利用している者
- オ 暴力団又は暴力団員等に対して、資金等提供又は便宜供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者
- カ 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者
- キ 相手方が暴力団又は暴力団員等であることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結している者

5 入札説明書等の配布期間、配布場所及び配布方法

(1) 配布期間

公告日から令和6年2月26日（月）まで

(2) 配布方法

- ・担当部署（2を参照）で無料にて配布する。
- ・電子メールでの配布を希望する場合は、jouho-t@suac.ac.jp宛てにその旨を送信すること。

6 入札参加申込書及び入札参加資格確認資料の提出

本入札に参加を希望する者は、次により、入札参加申込書及び入札参加資格確認資料を提出すること。

(1) 提出期限

令和6年2月27日（火）午後5時

(2) 提出方法

提出方法は、上記2で記載された部署へ、持参または郵送する。郵送は簡易書留に限る。

(3) 提出書類

- ア 入札参加申込書
- イ 物品購入等に係る静岡県競争入札参加資格審査結果通知書の写し

- (4) 入札参加資格がないと認められた者に対する理由の説明
- ア 入札参加資格がないと認められた者は、入札参加資格がないと認められた理由について説明を求めることができる。
 - イ アの説明を求める場合には、書面（様式任意）を上記2まで提出しなければならない。

6 入札手続等

- (1) 入札執行日時
令和6年2月29日（木）午前10時30分
- (2) 入札執行場所
静岡県浜松市中央区中央二丁目1番1号
静岡文化芸術大学 北棟4階 409 グループ演習室
なお、郵送及び電送による入札は認めない。
- (3) 入札保証金及び契約保証金
免除
- (4) 入札の無効
次の各号の一に該当する入札は無効とする。
- ア 本公告に示した入札に参加する者に必要な資格のない者が行った入札
 - イ 入札説明書等において示した条件等入札に関する条件に違反した入札
 - ウ その他、現行諸規程により、入札時点において入札参加資格のない者とされている者が行った入札
- (5) 落札者の決定方法
予定価格の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。
- (6) 再度入札
予定価格の制限に達した価格のないときは、直ちに再度の入札を行う。入札執行回数は2回を限度とする。
- (7) 契約書作成の要否
要

7 その他

- (1) この入札及びその他一切に関して使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 照会窓口は、上記2とする。
- (3) 入札説明会は実施しない。
- (4) 詳細は入札説明書による。
- (5) 契約手続きにおいては、公立大学法人静岡文化芸術大学契約事務取扱規程を適用する。

以上